

- 問1 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため
 2. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため
 3. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため
 4. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため
- 問2 冬の北海道において、シベリア沿岸で凍結した海水が潮の流れに乗ってオホーツク海沿岸へと押し寄せる現象を何といいますか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 流氷
 2. 潮汐
 3. 濃霧
 4. 季節風
- 問3 北海道の農業経営に関する二〇〇五年から二〇二〇年の推移について、統計的な事実として正しい説明はどれですか。なお、この期間において農業経営体の総数は減少しており、経営耕地面積の合計は約百七万ヘクタールから約百三万ヘクタールへと微減しています。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ
 2. 団体経営の割合が低下したため、一経営体あたりの経営耕地面積は縮小した
 3. 経営耕地面積が微減した主な原因は、団体経営の数が大幅に減少したことにある
 4. 農業経営体と団体経営の数がともに増加したため、耕地の奪い合いが起きた
- 問4 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 海洋性気候
 2. 内陸性気候
 3. 瀬戸内の気候
 4. 南西諸島の気候
- 問5 2018年における日本の都道府県別小麦収穫量において、過半数を超える61.6パーセントを占め、全国1位となっている都道府県はどこですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 新潟県
 2. 佐賀県
 3. 北海道
 4. 福岡県
- 問6 北海道の根釧台地にある別海町と、内陸の盆地に位置する旭川市の夏の気候を比較した際、別海町に見られる特徴と、それに関連した土地利用の様子を述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 旭川市に比べて夏の気温が明らかに低く、沿岸部から広がる濃霧の影響を受けやすいため、多くの土地が牧草地として利用されている。
 2. 旭川市よりも夏の気温が高く、日照時間が長いため、広大な土地を利用した稲作や畑作が盛んに行われている。
 3. 旭川市に比べて降水量が極端に少なく、夏は干ばつに見舞われやすいため、大規模なダムと灌漑施設を利用した酪農が行われている。
 4. 旭川市に比べて冬の積雪量が圧倒的に多いため、冬の間の産業として酪農ではなく林業が中心となっている。
- 問7 北海道の太平洋側に夏に発生する濃霧は、周辺の気候や産業に大きな影響を与えます。この霧が発生する一因となっている、北から南下してくる寒流の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 黒潮
 2. 親潮
 3. 対馬海流
 4. 日本海流
- 問8 冬の北海道において、北東部の海域が白い氷で覆い尽くされる「流氷」が見られる海域の名前と、その氷が形成される場所の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海 — 中国大陸沿岸
 2. 日本海 — サハリン沿岸
 3. オホーツク海 — シベリア沿岸
 4. 太平洋 — カムチャツカ半島沿岸
- 問9 北海道の自然環境における気温の分布について、一月の平均気温がマイナス十二度からマイナス三度の範囲であるのに対し、八月の平均気温は十八度から二十七度の範囲となっています。沿岸部にある稚内市役所付近の地点と、北海道で最も標高が高い地点を比較した際、特に夏季において平均気温に大きな開きが生じる主な要因として正しいものを次から選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 緯度の違いによる日照時間の差
 2. 標高の違いによる気温の変化
 3. 暖流と寒流がぶつかる潮目の影響
 4. 季節風（モンスーン）の遮断
- 問10 水産資源を安定的に確保することを目的として、卵から人工的にふ化させた稚魚を、外敵から守れる環境である程度まで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に再び漁獲する漁業の形態を何といいますか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 遠洋漁業
 2. 養殖業
 3. 沖合漁業
 4. 栽培漁業
- 問11 北海道の経済や文化の変遷について、かつての商業都市である小樽と、自然保護が進む釧路湿原の背景を説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 小樽は、江戸時代に東廻り航路の終着点として栄えたため、現在も大規模な製鉄所が稼働する重化学工業都市となっている。
 2. 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。
 3. 釧路湿原は、寒冷な気候を活かした稲作の適地として開発が進んだが、現在は冷害に強い品種改良の実験場となっている。
 4. 釧路湿原は、農地開発や工業用地としての利用を目的として大規模な埋め立てが行われた結果、世界文化遺産に登録された。
- 問12 北海道東部の根釧台地における気候の特徴と、それに関連した農業の様子について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 日本海側に位置するため冬は大量の降雪があり、その豊富な雪解け水を利用した大規模な稲作地帯が形成されている。
 2. 年間を通じて降水量が極端に少なく、乾燥した土地に適したブドウやオリーブなどの果樹栽培が地域経済の中心となっている。
 3. 夏の気温が非常に高く日照時間が長いので、広大な土地を利用して本州と同じような二毛作による野菜の生産が行われている。
 4. 太平洋側に位置するため冬の降雪量は比較的小さいが、冷え込みは非常に厳しく、広大な牧草地帯を活用した酪農が盛んである。
- 問13 かつて農業に不向きであった石狩平野の泥炭地を、日本有数の稲作地帯へと変えるために行われた工夫や取り組みについて、正しい説明を選んでください。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 他の場所から性質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった土地改良を行った。
 2. 高台から水を引くための大規模な「ため池」を建設し、乾燥した土地に水分を供給した。
 3. 大規模な森林伐採を行い、燃やした灰を肥料として土地に混ぜる「焼畑」を繰り返した。
 4. 地力を回復させるために、農地を数年ごとに休ませる「輪作」を導入した。